

# 行財政改革実施計画・行動計画票

[平成 22 年 8 月 2 日 提出]

No.	22	実施済み									
基本方針	1 財政の健全化					担当課名	財政課				
重点項目	2 歳出削減に向けた主要な取り組み (5)公債費の抑制										
取組項目	21 償還期間の延長										
経過・現状 (H17.4.1現在)	借換債について下記の内容を検討。 ・借換の対象とする起債の選択(発行額) ・時期と手法										
推 進 スケジュール	H17	H18	H19	H20	H21	目標年次	平成 18 年 度				
	検討	実施	-	-	-						
実績評価	A	A	-	-	-	達成年次	平成 18 年 度				
	計画どおり	計画どおり	-	-	-						
行 動 概 要	目標	償還期間の延長									
	期待される効果	・公債費の平準化、特にH18～21の公債費負担の軽減を図る。									
	必要性 問題点	・公債費負担の累増を緩和し、平準化するため借換債の発行が必要。									
	対象	政府資金									
	手 段	年度	実施内容・予定時期				効果額合計( 0 千円)				
		17年度 (実績)	・財政健全化計画の借換債発行予定額;8,831,700千円				目標 数値				
							効果	歳入( 千円)			
								歳出( 千円)			
		18年度 (実績)	・借換債を発行し、平成18年度以降の公債費の平準化に努めた。 ・借換額;4,064,400千円 ・借換時期;9月末 ・H18～H25の8年間は公債費支出が抑制されるが、全体としては、公債費支出が増加する。 [抑制額;1111,561千円、増加額;522,180千円]				目標 数値	効果額については、NO.19に計上			
							効果	歳入( 千円)			
							歳出( 千円)				
19年度 (実績)						目標 数値	効果額については、NO.19に計上				
						効果	歳入( 千円)				
							歳出( 千円)				
20年度 (実績)						目標 数値	効果額については、NO.19に計上				
						効果	歳入( 千円)				
							歳出( 千円)				
21年度 (実績)						目標 数値	効果額については、NO.19に計上				
						効果	歳入( 千円)				
							歳出( 千円)				
関係例規等		名称						改正時期			